



のっぽの手

福島学院大学スペース利用スタート

理事長 星野 珙二

昨

年の秋、福島学院大学から「駅前キャンパスにNPO活動のためのスペースを用意するので、よかったらネットワークセンターで利用を考えてください」と



学生達が利用しやすいようなレイアウト。

の要請がありました。福島学院大学の福祉学部において、副理事長の佐藤和子さんと私が「NPO実習Ⅰ、Ⅱ」を担当していることも、そうした要請の背景に

なっているものと思われます。

役

員会や理事会での議論を経た結果、おおよそ次のようなスペース利用の仕方に絞られてきました。ひとつは、大学における教育施設の中に入っていることから、学生のボランティア活動やNPOでのインターンシップ活動の情報提供や相談窓口になることが考えられます。NPO関係の書籍や情報誌などを取りそろ

え、学生に市民活動への関心をもってもらい、ボランティア・NPO活動へ取り組む契機となるようなスペースにしていきたい



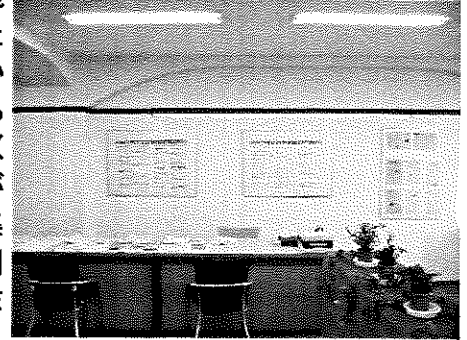
観葉植物も置いてみました。

ということです。この点では、すでに模擬NPO活動を展開する「NPO実習Ⅱ」受講生の溜まり場兼実習活動の場としても機能し始めています。

も

うひとつは、このスペースが福島市の中心街にあることから、まちづくり関連のNPOの緩やかな協議体の役割を果たしていきたいと考えています。まち

づくりには、それぞれの専門的NPOがネットワークを組んで相乗効果を高めていく必要があることから、やはり、まちづくりNPOの溜まり場兼情報交換の場として機能していきたいと思っています。こちらでも、すでにいくつかのNPOが週に1、2度集り、活動を開始しています。



当センターが主体となって管理をしていく。

会

員のみなさまにも是非訪ねていただき、活発なスペースになるようご提案、ご協力いただけましたら幸いです。

★福島学院大学スペース利用開始します！！★

福島学院大学スペース利用を学生さんだけでなく、様々な市民活動団体の方々やNPO法人さんに利用していただこうと、スペースを皆様に開放する予定です！！利用形態は会議室(団体間の打ち合わせ)や、スペースを活用して様々な活動を行なうことが可能です。(例えば、体験実習や、勉強会、広報物の制作作業など)

近々、学院大さんとの調整が整い次第、改めてご案内します。どうぞ期待！！

センターからお知らせ！！

当センターのホームページがございましたが、一度リニューアルしたものの、もう少し利用者の立場にたったホームページはできないものか？という声がありましたので、もう一回作り直しちゃいました。今回は、ホームページ上から会員登録や、メーリングリスト登録(仮)、研究会、講座申し込み、助成金情報など盛りだくさんの内容にしましたので是非ホームページのスタートページにしてみてください！！(笑)

URL : <http://www.f-npo.jp/>

市民活動フェスティバルを振り返って

理事 齋藤実



パネルディスカッション

市民活動フェスティバルは、2003年度を皮切りに04、05年度と開催し本年度で4年目になる。フェスティバル開催のきっかけは03年5月の福島県北NPOネットの設立にある。丁度この年「公益信託うつくしま基金」がスタート、助成金の募集を行っていたので、これに応募した結果、幸いにも助成金をえることができた。

県北NPOネットワーク設立の会則にあるように「県北NPO法人市民活動団体のネットワークを通じ、市民活動の一層の推進と各団体の強化、発展に寄与する」とあり、フェスティバルはこの使命を達成するうえで、有効に機能すると考え実施した。

応募のプレゼンテーションにあたって、フェスティバルの開催目的に「市民が主役の社会を創り、市民の想いや願いをかなえる」を掲げた。市民活動の原動力は、市民個々人の想いや願いを実現することであり、同じ「想い」の同志が集まり、実現の「手段」「手法」を考え、活動する自立した市民の仲間を増やし、市民が主役の社会づくりを目指すことにある。

このような「使命」を担いNPO法人数は急速に拡大、現在県内で331を数え、県北地域は91と県内の3分の1近くを占めるに至った。しかし、一方、多くのNPO法人は活動資金、担い手、活動拠



市民活動を応援するクラブスさん

点の確保等多くの課題を抱え苦労している。個々のNPO法人の努力だけでは、自ら限界があり共通の課題解決に向け一層の連携と協働の営みが今求められている。

市民活動フェスティバルは市民の「想い」の実現と、市民活動を推進する団体の力量アップという課題を背景に、多くのNPO法人、市民活動団体、

ボランティア等の参加と、協力を得て広がりを見せてきた。これは、NPO法人関係者の努力に負うところが大きい。

去年は10月10日～11月23日の46日間の長期にわたり開催、この間3



もりの案内人さん達による木工教室

6の市民活動団体が自主的に企画、運営するイベントを持ち寄って参加し、多くの市民を動員し、その数は相当数に上るものと見られる。一方、主催者団体のメイン事業「基調講演とパネルディスカッション」は中央の有名講師を招いたものにもかかわらず、NPO・市民活動団体・市民の参加が少ないなどの課題をのこした。

今年の1月下旬、これまで3回のフェスティバルを反省し、今後どう取り組むかの検討会を開いた。終始活発な意見交換があったが、そこに見えてきたのは、

- ①先の主催者団体のメイン事業については、市民活動団体は中央の偉い先生の話も必要だと考えるが、よりNPO同士の活動、経験交流の中から相互に学び共通の取り組むべきテーマを見つけ出すことに力点を置くべきだとする見解
- ②このことと関連し、イベントの対象を誰にするのか、一般市民か、NPO法人か、ボランティアなのかをはっきりさせた上で、事業の目的化を明確にすること
- ③参加団体の自主事業のイベントに、他団体はどれだけ参加、協力したか、連携、協力のあり方が改めて問われた。
- ④NPOと企業との協働は、今後の課題として残された。
- ⑤様々な問題、課題を抱えているなかで「市民活動ハンドブック」の発行に対する評価は高く、お互いの活動内容情報の受発信、共有のニーズが強く求められていることを示した。

以上がこれまでの若干の総括であるが、様々な問題、課題をどう克服するかを念頭に置き、目下4回目の開催に向けて内部作業が進められ、近く開催方法が決定される。

ふくサポ講演会

人と出会い思いを伝え合う場づくりをめざして
福島市民活動サポートセンター
スタッフ 古山 郁

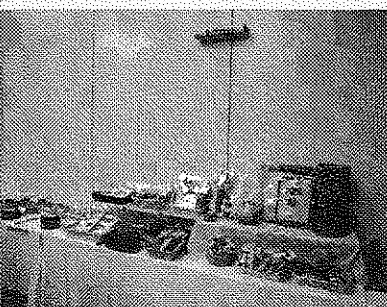
さる3月25日(土)、ふくサポでは昨年度末最後の催事として、交流と対話を強く意図したイベント『ふくサポで、逢いましょう』を開催しました。ゲストには映画プロデューサー 越後啓子氏、(特活)カルチャーネットワーク(以下、CANと略します)理事 松本一弘氏を迎えました。

地域の人々を巻き込みながら映画を製作し、まちの活性化につなげるユニークな活動に取り組む越後氏からはその醍醐味を、氏と共に白河市で活動する松本氏からは県内の間近な事例としてCANの立場からお話いただきました。

その後は参加者全員が出演者となり、福島を住み易くする為に、あるいは自らの活動を飛躍

させる為に、日頃抱いている思いやゲストへの質問、語り掛けなどが飛び交う、賑やかな“しゃべり場”となりました。

既にこの場がきっかけとなり、新たなまちづくりへの取り組みも始まったと聞いています。さらに



8団体のご提供による品物の数々

近々、「もう一度、逢いましょう」と、『ふくサポ・情報交換サロン(仮名称です)』の場にお誘いするプランも考えています。

市民活動の拠点としてふくサポが試みた、初めての交流型イベントの成果として、幾つかのムーブメントの“発芽”を期待しながら、大切に見守っていきたいと思っています。

スタッフ紹介

自己紹介

遠藤 嘉國
(えんどう よしくに)

情報ステーション勤務



以前よりも広々としたレイアウト

団体やNPO団体ということでは知っていましたが、実情は知り得ませんでした。そんな私がNPOに興味を持ち今現在「ふくしま情報ステーション」にて県内の情報をお客様に提供するという仕事を通じて、少しずつNPOという存在が理解できた気がします。その中で仕事



私はこれまで「NPO」がどのようなものかをあまり理解していませんでした。国内で災害が発生した際にしばしば耳にするボランティア



の中で何をすればよいのかという壁に当たり、様々な事を考えました。私のこれからの抱負としてはお客様のニーズに応えられる情報を与え

られる情報の中だけではなく、自ら情報を探し、お客様に的確に提供できるような仕事をしていきたいと思っております。

皆様是非、コラッセにお越しの際は情報ステーションにお越しくださいませ。

賛助会員

六陽印刷・東邦銀行
タカラ印刷・福島信用金庫
ラジオ福島・NTT福島支店
NPO法人うつくしま保全センター
福島トヨタ・佐藤工業株式会社
★ご協力ありがとうございます★

イベント関連のお知らせ

まずは情報ステーションから

賑わいイベント情報 From情報ステーション
コラッセで行われるイベントをごあんな〜い★

6月

・2日〜4日

第39回皐月花季展示会

皐月協会福島県支部による生け花展

・10日・11日

県北地区ミニ地球市民フェスティバル

ルワンダ、エチオピアなど福島県に活動拠
点を置くNGOの活動紹介やフェアトレード
商品の販売

・11日

★コラッセフリーマーケット★

出店者まだまだ募集中！！

・15日〜18日

花はともだちVI

小原流福島支部による生け花展

・24日〜30日

「花見山」写真展

花見山フォトコンテストの入賞作品展

7月

・1日・2日

華道家元池坊福島支部青年部花展

青年部による生け花展

・9日〜15日

ウズベキスタン交流27周年記念写真展

ウズベキスタンの国を紹介する写真展

・16日〜18日

宮畑縄文まつりinコラッセ

宮畑遺跡に関する資料や土器の展示、縄
文時代の体験コーナーなど

・他にもいっぱい

コラッセではほぼ毎日イベント開催されています。やっ
どね〜ときはこらっせ〜

なにやら素晴らしいイベントの数々ですね。

興味のあるかたは情報ステーションまで是非ご連絡くだ
さい！！TEL024-525-4020

続いてサポセンから

情報交換サロン(仮名称)始めました。

狭いスペースでの開催なので人数に限りはありますが、参加や傍聴、大歓迎です。

日程など詳しい内容は、ふくサポまでお問合せください。

◆6月下旬

テーマ:「もう一度、逢いましょう」

3月25日のふくサポ・イベント『ふくサポで、逢いま
しょう』のその後を聞く集いです。

まちづくりや行政との協働にに興味のある方、必見
です。

◆7月下旬

テーマ:「学生ボランティアの輪」

地域貢献や市民活動を行なう大学生のサークルに
集まっていたく予定です。

学生サークルを知りたい方、ネットワーク作りを考
えている方、必見です。

8月以降も、ご利用団体からのご要望やふくサポか
らの投げかけで、テーマやゲストの団体等をお呼び
します。ご期待ください。

福島市市民活動サポートセンター(ふくサポ)/担当:
古山

福島市早稲町4-16 ラヴィバレー番丁3階

TEL.024-526-4533 FAX.024-526-4560

E-mail:f-ssc@bz01.plala.or.jp

2006年度総会のお知らせ

2006年度の総会が7月22日(土)の午後1時から開
催することが決定致しました。

記念講演会も今回は開催されます。

(午後2時30分より開催)

講師は池上惇氏です。

☆プロフィール☆

1933年大阪市生まれ。京都大学名誉教授。

京大で財政学を講じながら「人間発達の経済学」を
先駆的に提唱し、社会人教育に長年携わって多くの
研究者を世に送り出す。

近年は文化経済学に精魂を傾け、この春に「国際
文化政策研究教育学会」を立ち上げた。

目下、主に団塊世代を学生とする「文化政策・まち
づくり大学院」を精力的に準備中。

『文化と固有価値の経済学』(岩波書店)ほか著書
きわめて多数。

是非出席くださいますよう、よろしくお願い致します。

編集後記

ひさ〜しぶりです。ひさ〜しぶりです。のっ
ぽの手目指せ3ヶ月に一回は敗れましたが、こ
の号を機に目標を達成していきたいと思いま
す。夏に向けてダイエット中ですが、お腹が
やばいので、TVで放送されている怪しい通信
販売に手を出そうか迷ってます。購入した方
センターまで(笑)体脂肪減らしたいより